

沖縄県における 観光経済の現状

1 観光経済の現状を把握するための5つの指標

- 5つの指標から観光経済の現状について把握。
- 観光客の消費（③観光収入）による県内での経済循環（⑤経済波及効果）を促進するためには、「④域内調達率」を高めることが重要。

観光客の沖縄県内での
1人あたり支出額

観光客の沖縄県内での
支出の総額

$$\text{①来訪者数} \times \text{②消費単価} = \text{③観光収入}$$

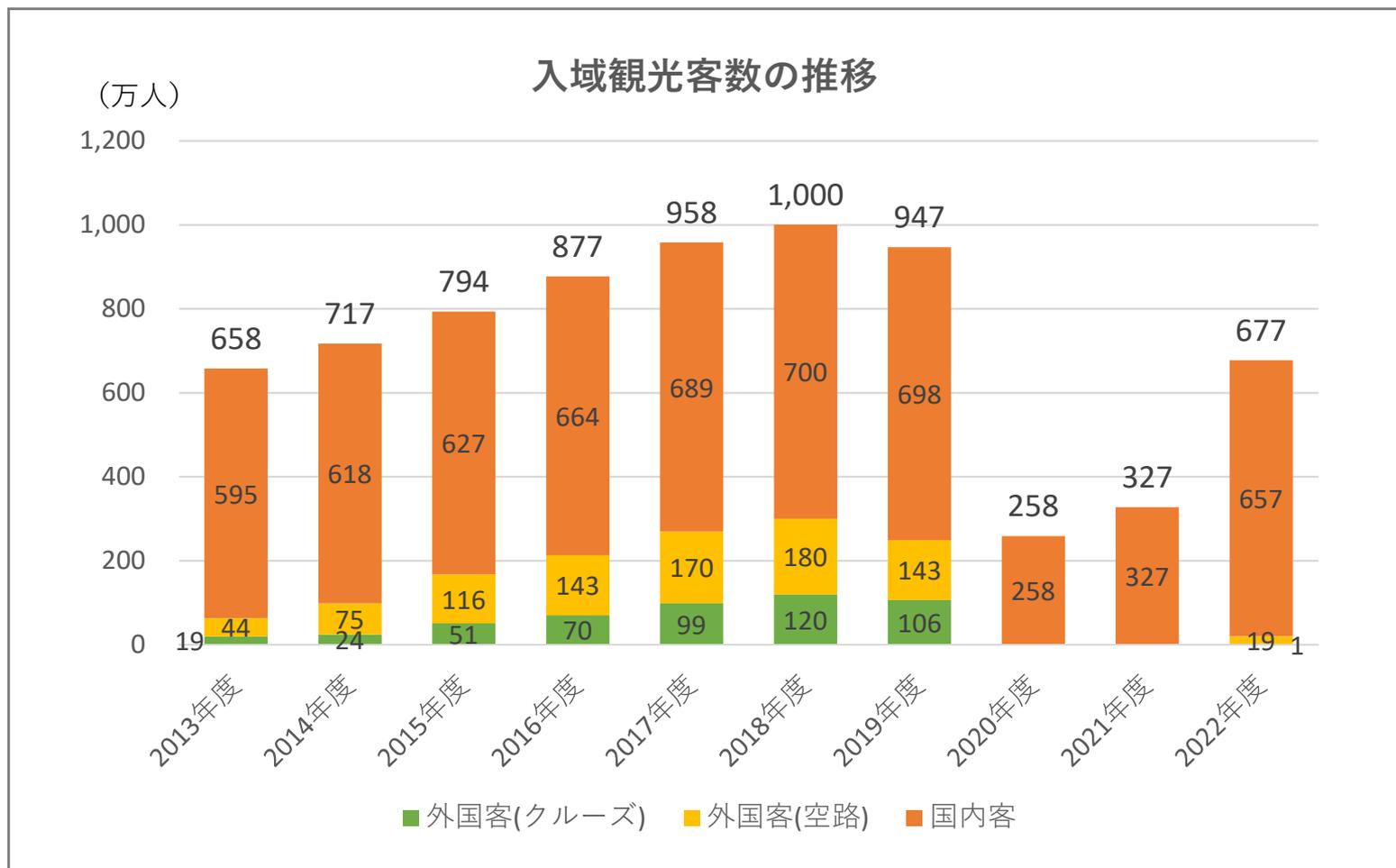
$$\text{③観光収入} \times \text{④域内調達率} = \text{⑤経済波及効果}$$

企業が、県内から仕入・外注をする割合

経済循環の大きさを示す

1-① 来訪者数【入域観光客数の推移】

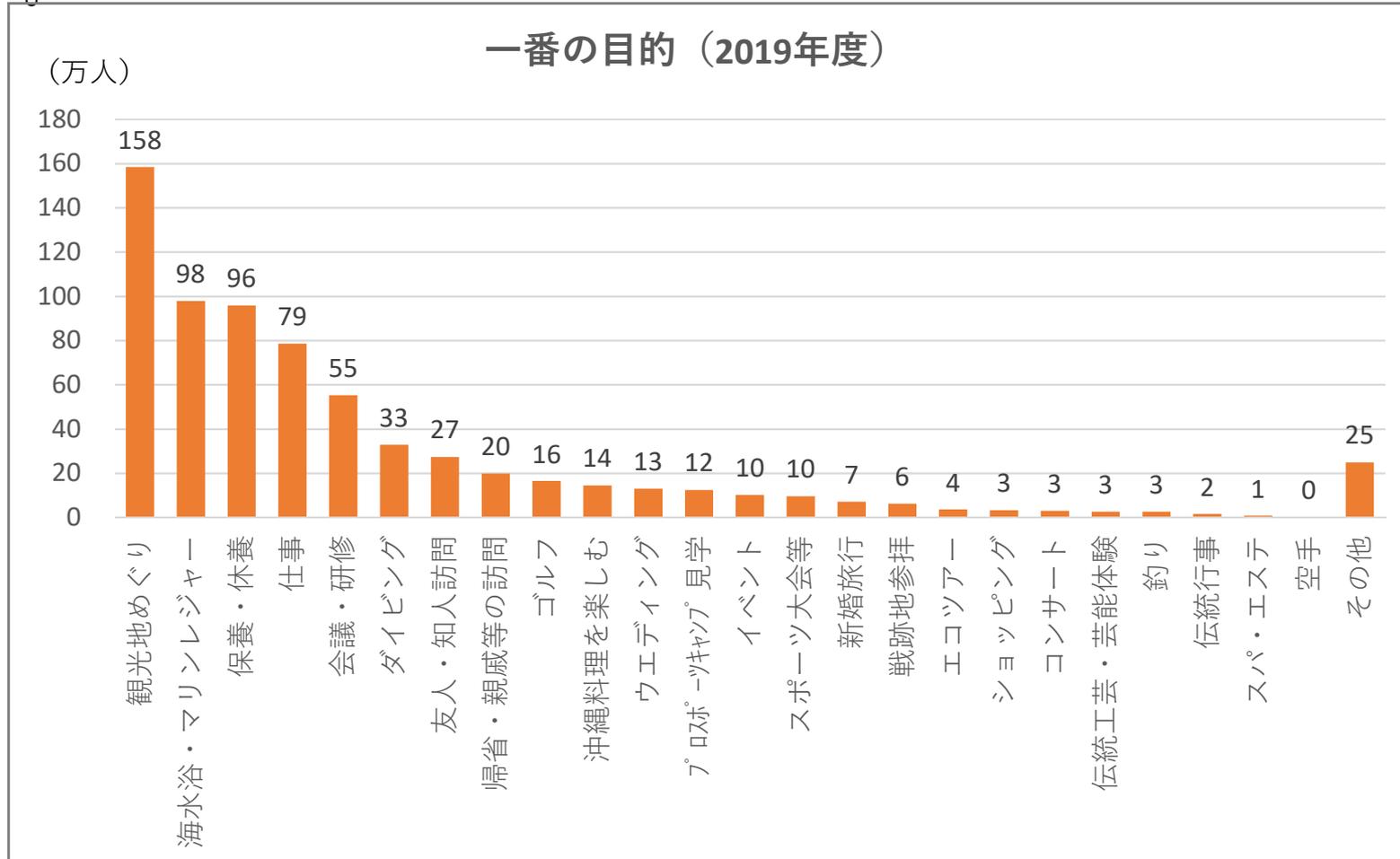
- 2022年度の入域観光客数はコロナ前ピーク時の約7割まで回復。



出典：沖縄県. 観光入域客数、2023

1-① 来訪者数【国内客・一番の目的別】

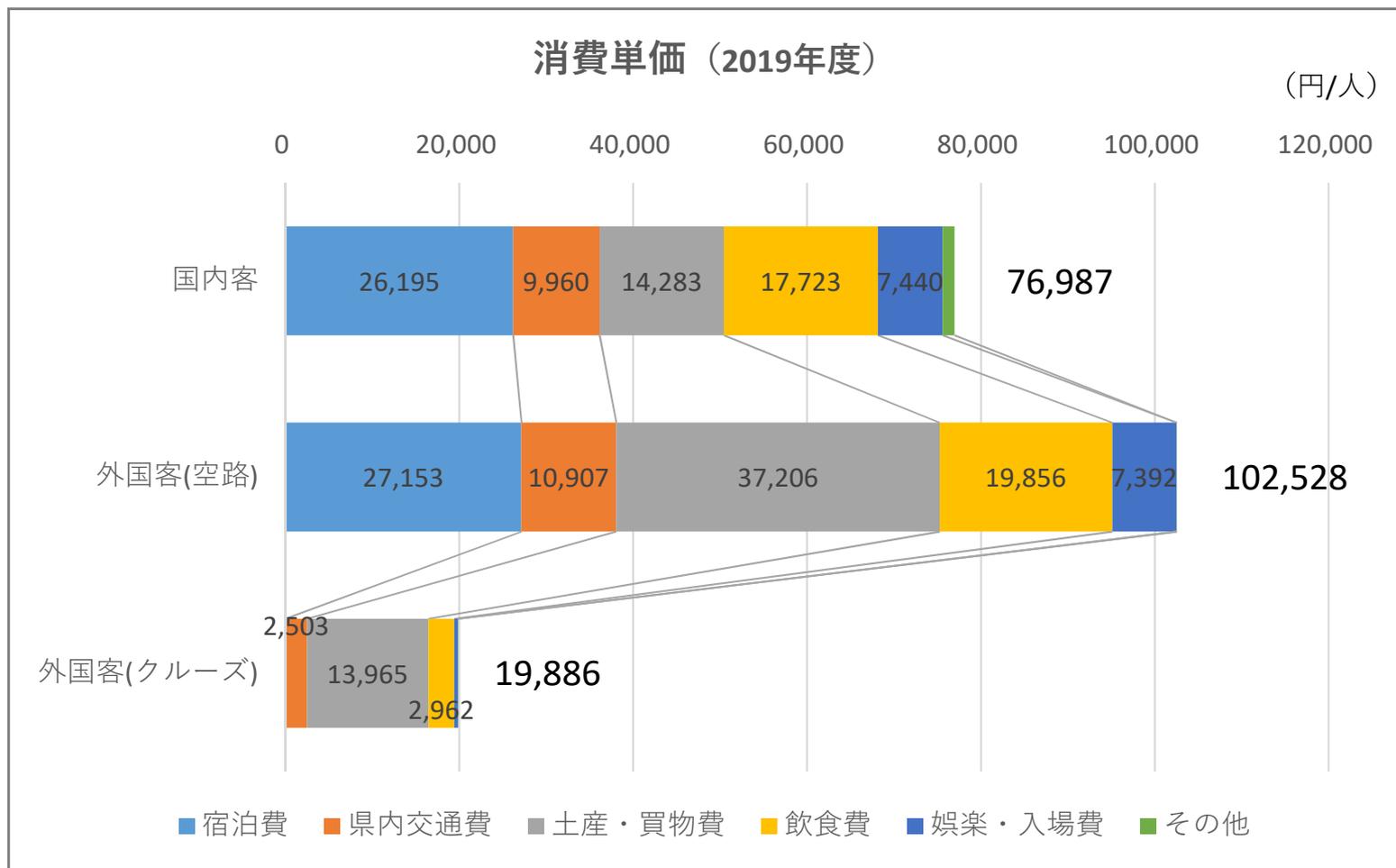
- 観光地めぐり、海水浴・マリレジャー、保養・休養を目的とした客層が多い。



出典：沖縄県. 観光統計実態調査、2020

1-② 消費単価

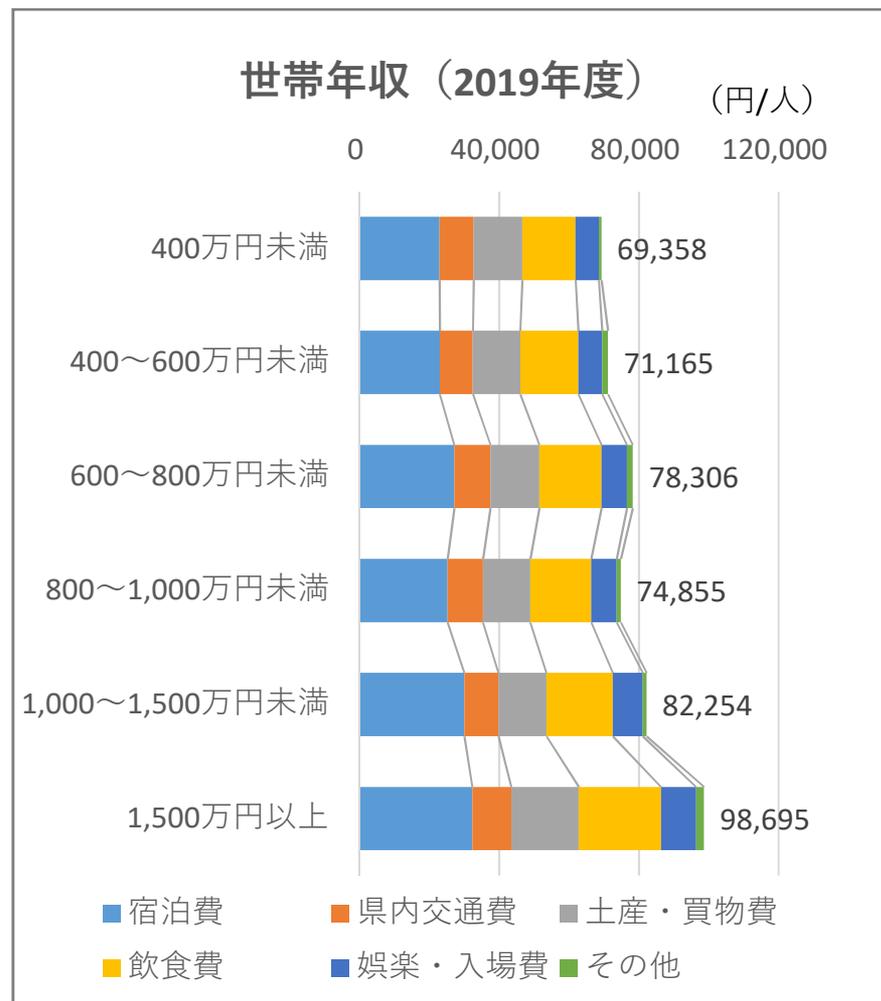
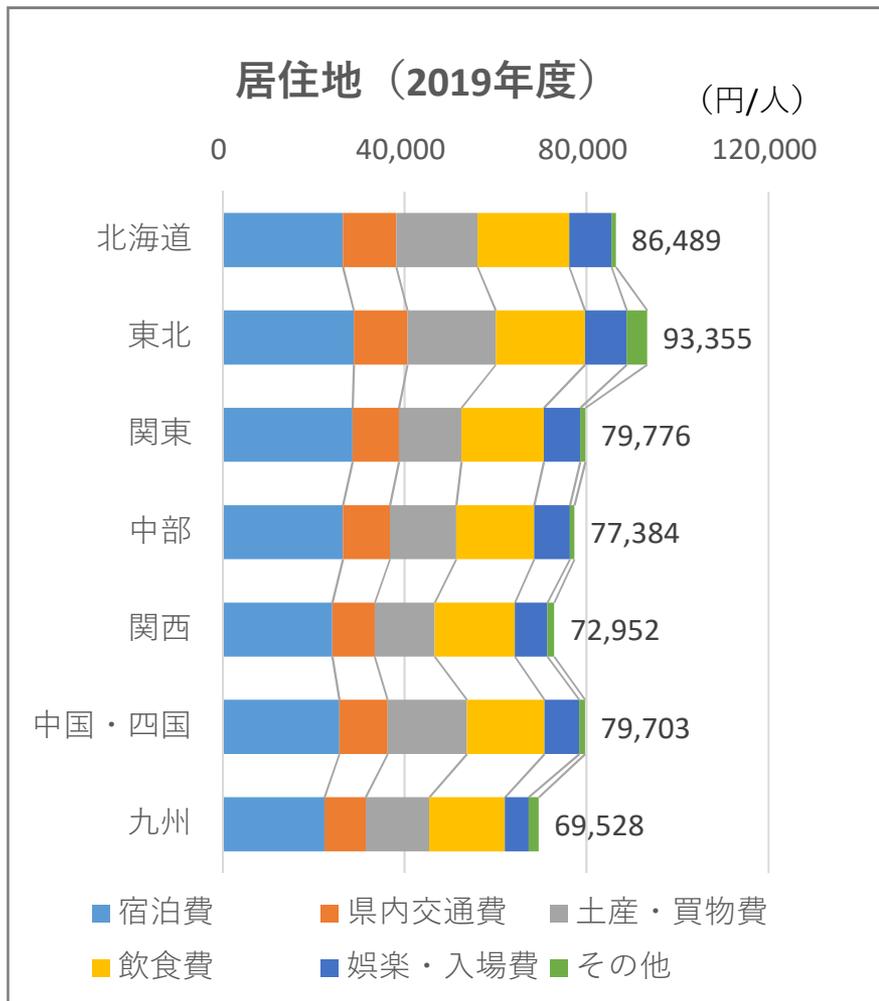
- 土産・買物費の割合が大きい外国客(空路)の単価が高い。



出典：沖縄県. 【年度】令和元年度の観光収入について、2020

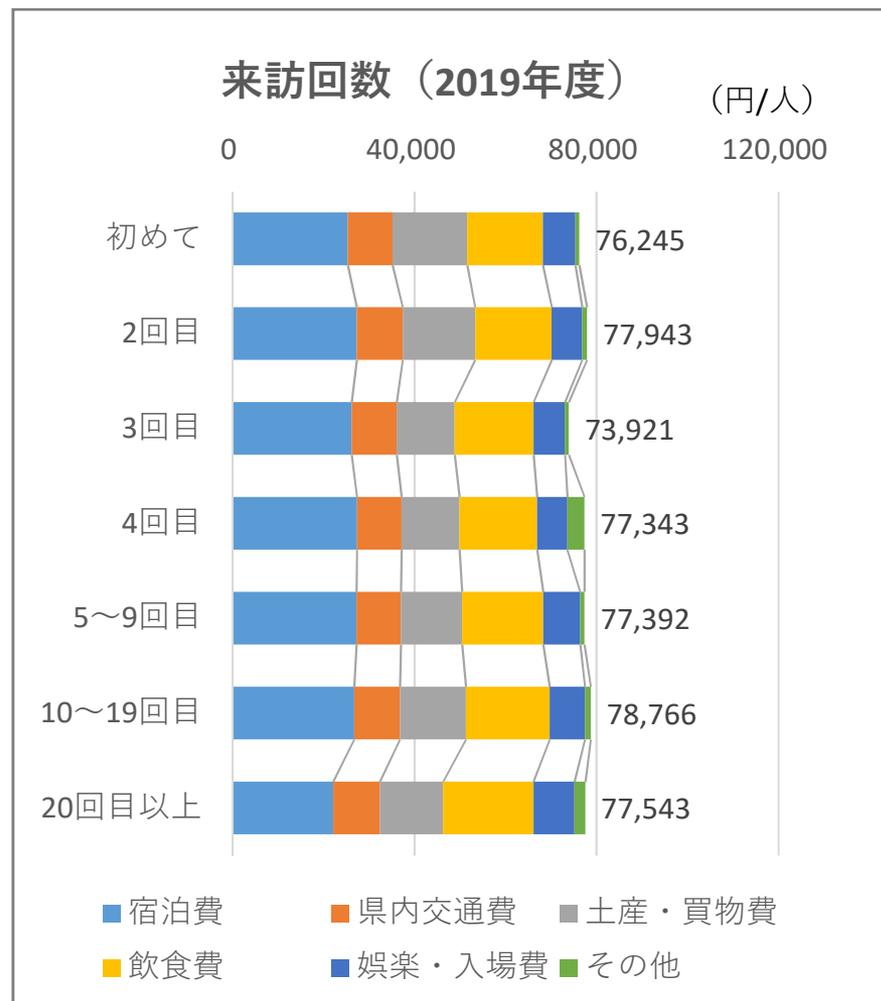
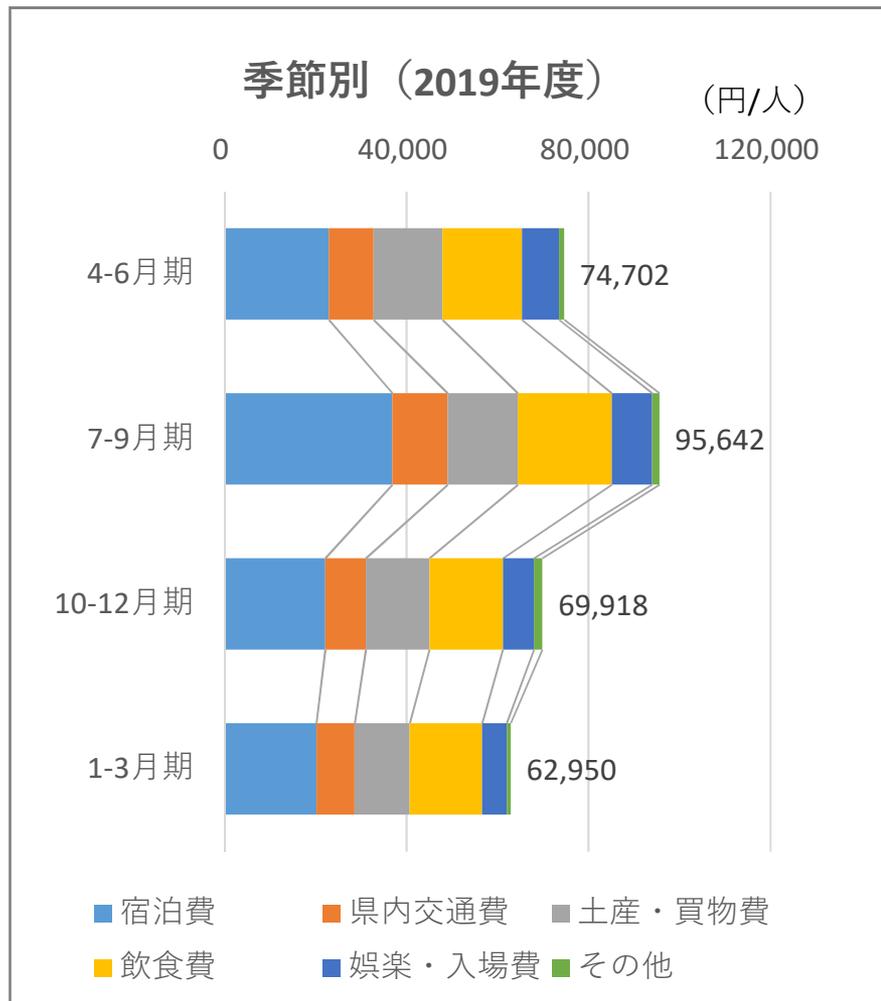
1-② 消費単価【国内客・客層別】

- 世帯年収が高いほど消費単価は高くなる傾向。



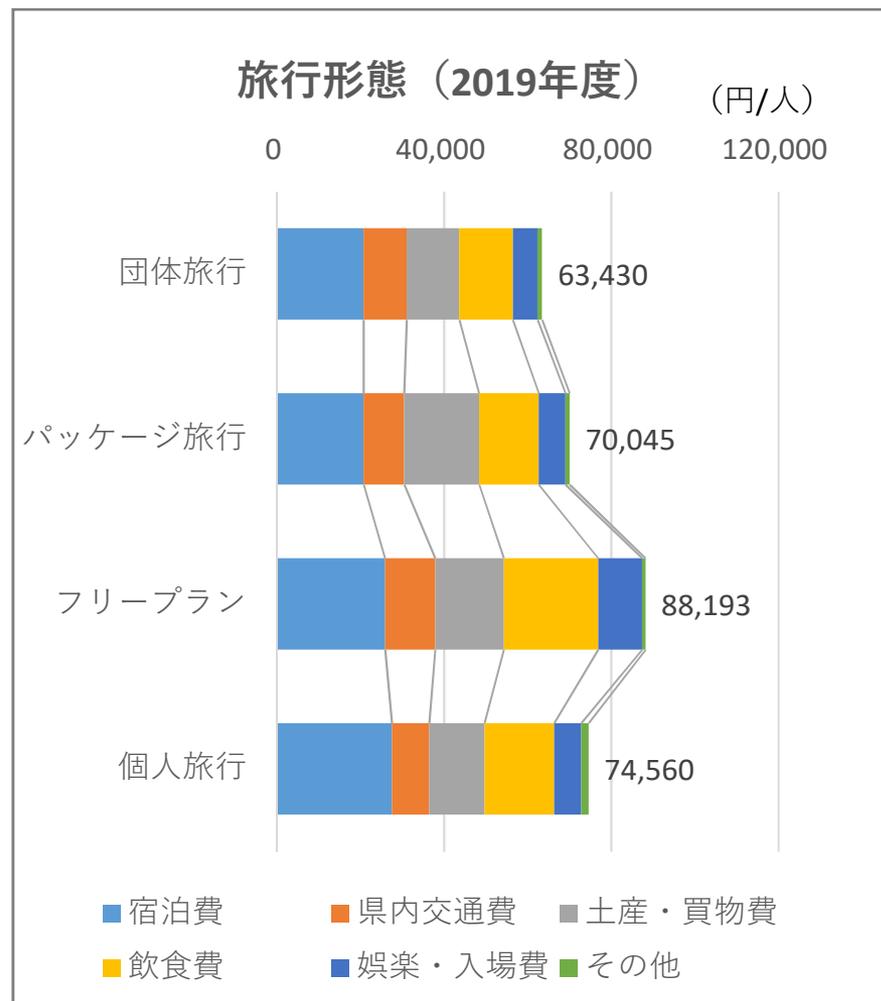
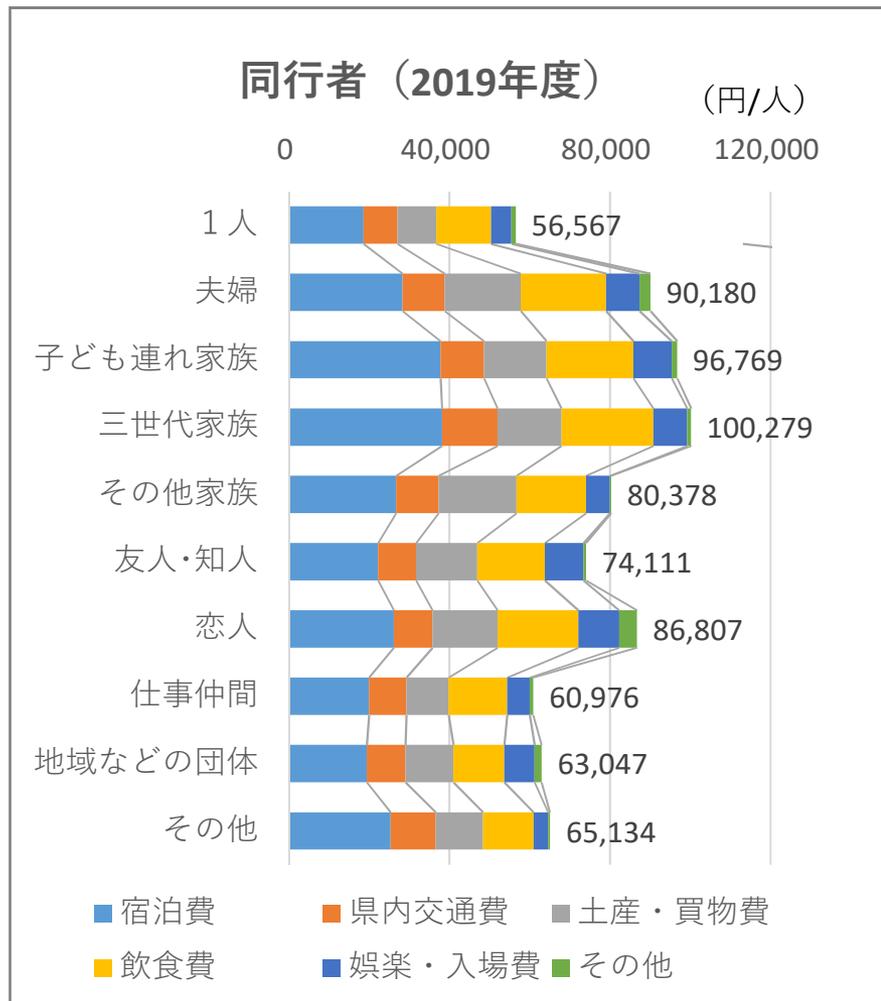
1-② 消費単価【国内客・客層別】

- ・ 宿泊費を中心に夏季の消費単価が高くなる傾向。来訪回数による違いはなし。



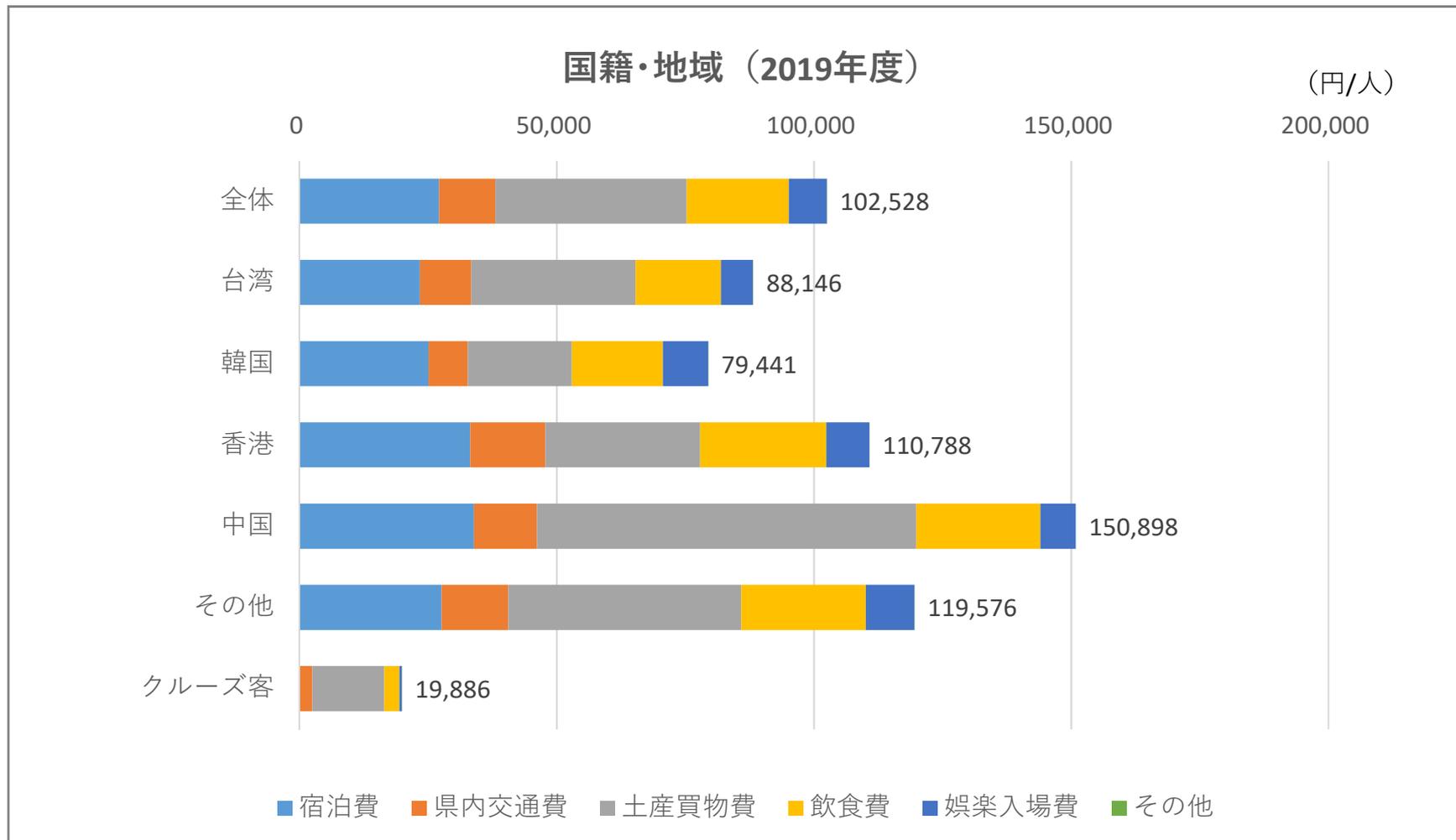
1-② 消費単価【国内客・客層別】

- 夫婦や子供連れ・三世代家族、フリープランの単価が高い傾向。



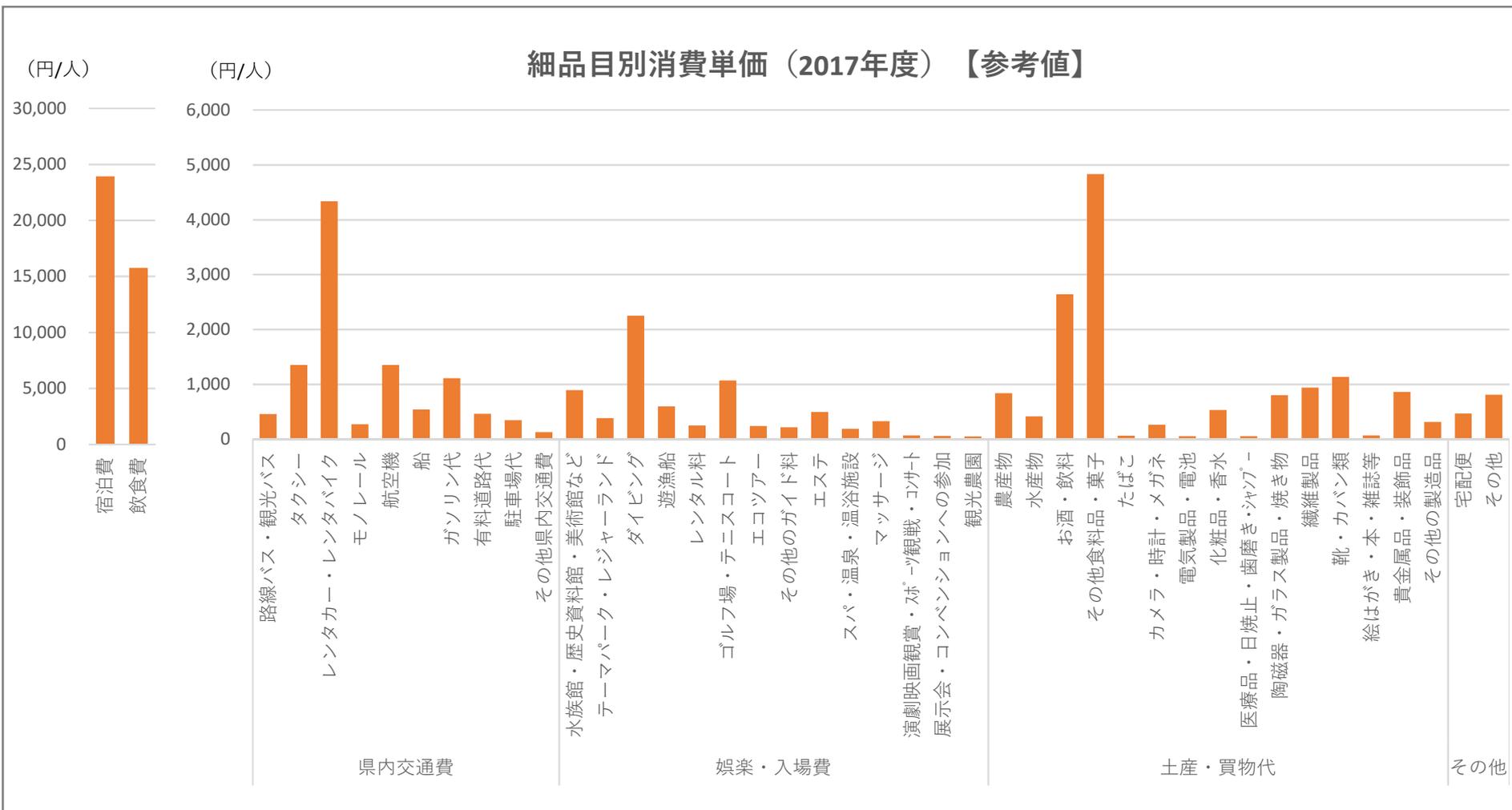
1-② 消費単価【外国客】

- 平均10万円程度。土産・買物代が大部分を占める中国の単価が特に高い。



1-② 消費単価【国内客・細品目別】

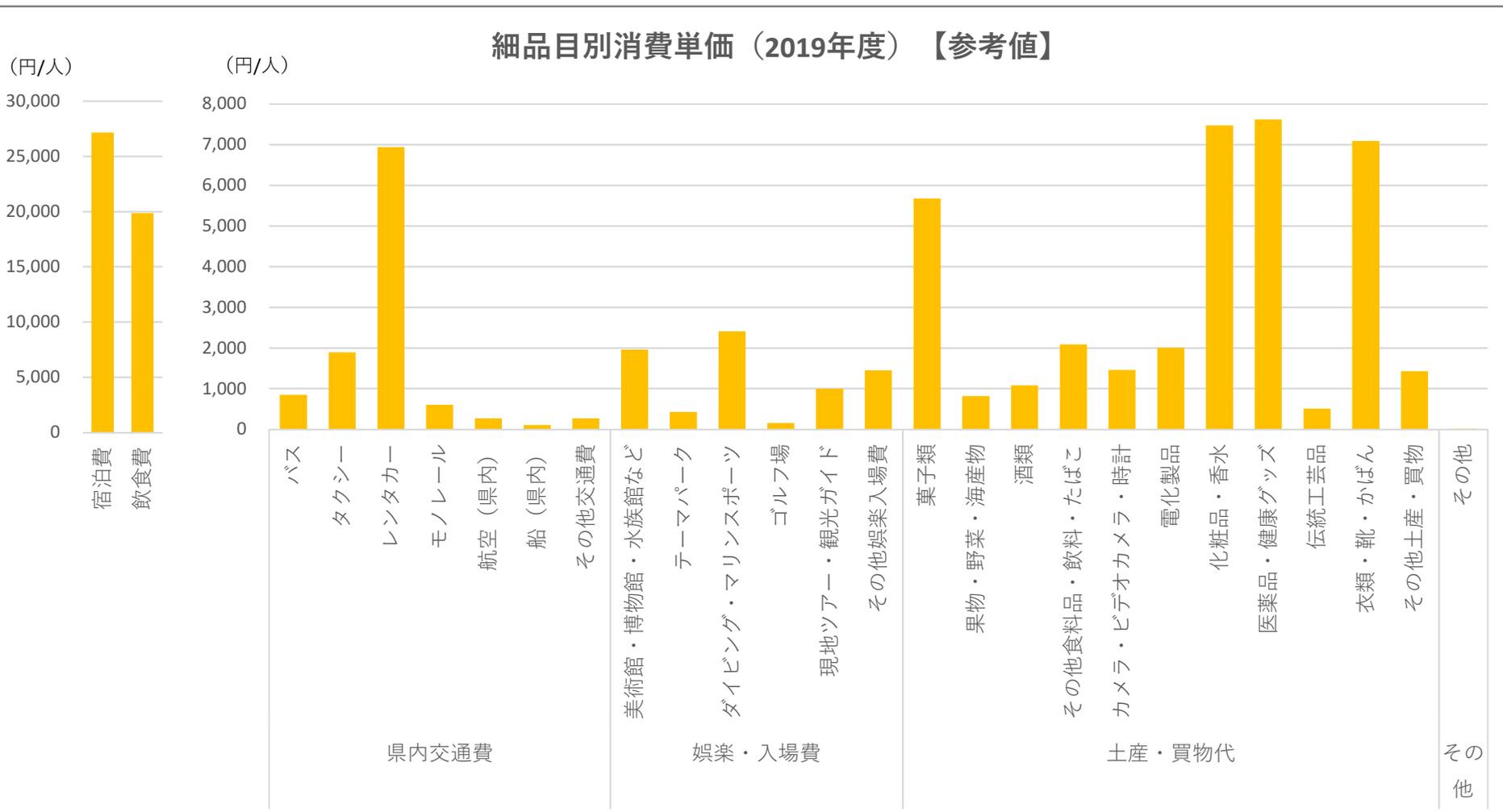
- ・ 宿泊・飲食費のほか、レンタカー、ダイビング、お酒・飲料、菓子などが高い。



出典：沖縄県. 観光統計実態調査、2018

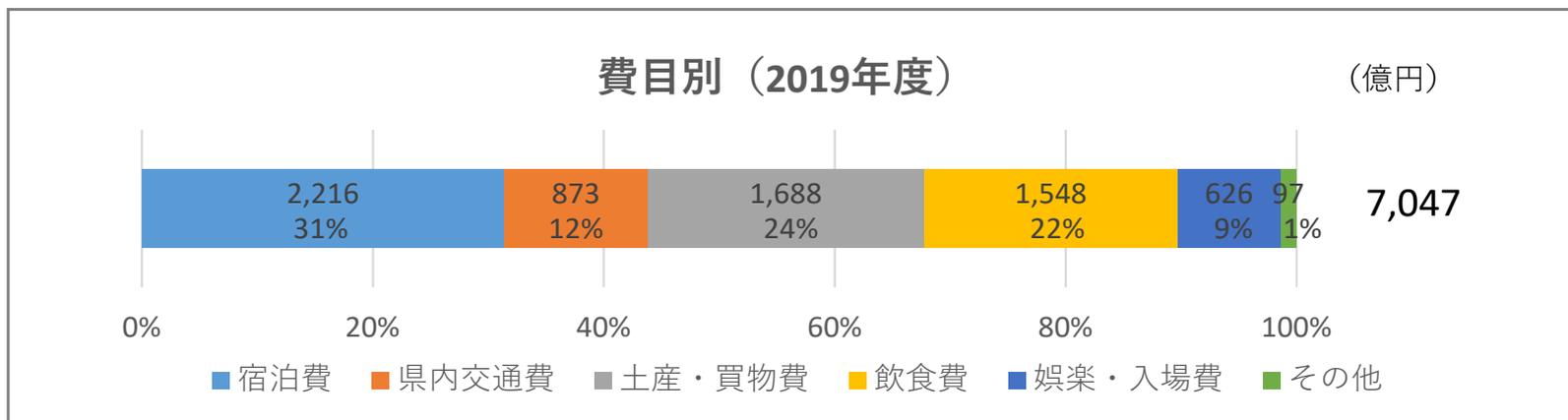
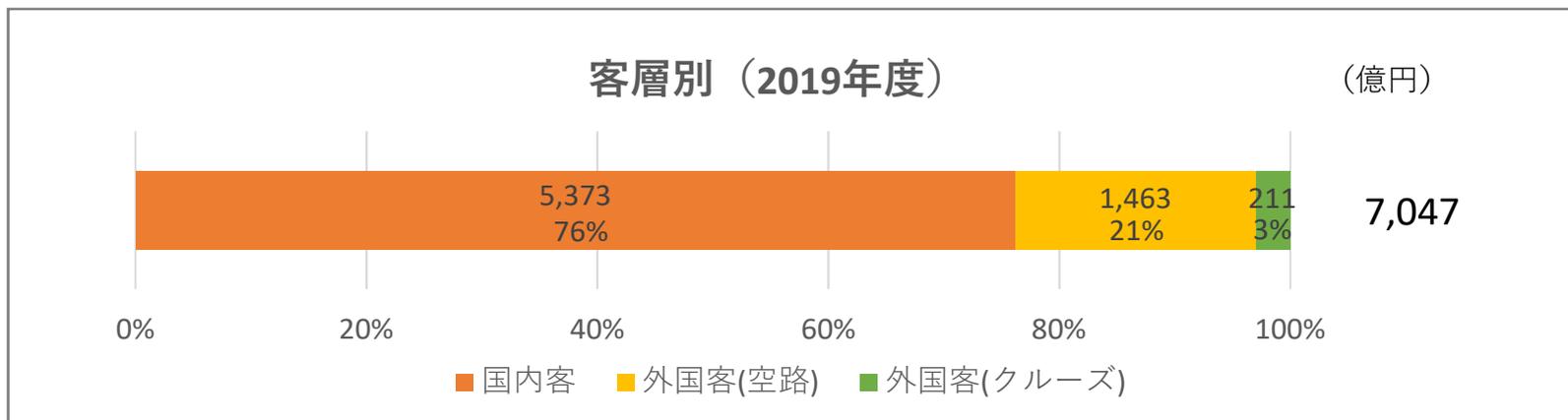
1-② 消費単価【外国客(空路)・細品目別】

- ・ 宿泊・飲食費のほか、レンタカー、菓子類、化粧品・香水、医薬品・健康グッズ、衣類・靴・かばんが高い。



1-③ 観光収入【内訳】

- 客層別では国内客が3/4を占める。費目別では宿泊費が最も大きい。



出典：沖縄県。【年度】令和元年度の観光収入について、2020 より事務局推計

1-③ 観光収入【国内客・客層別】

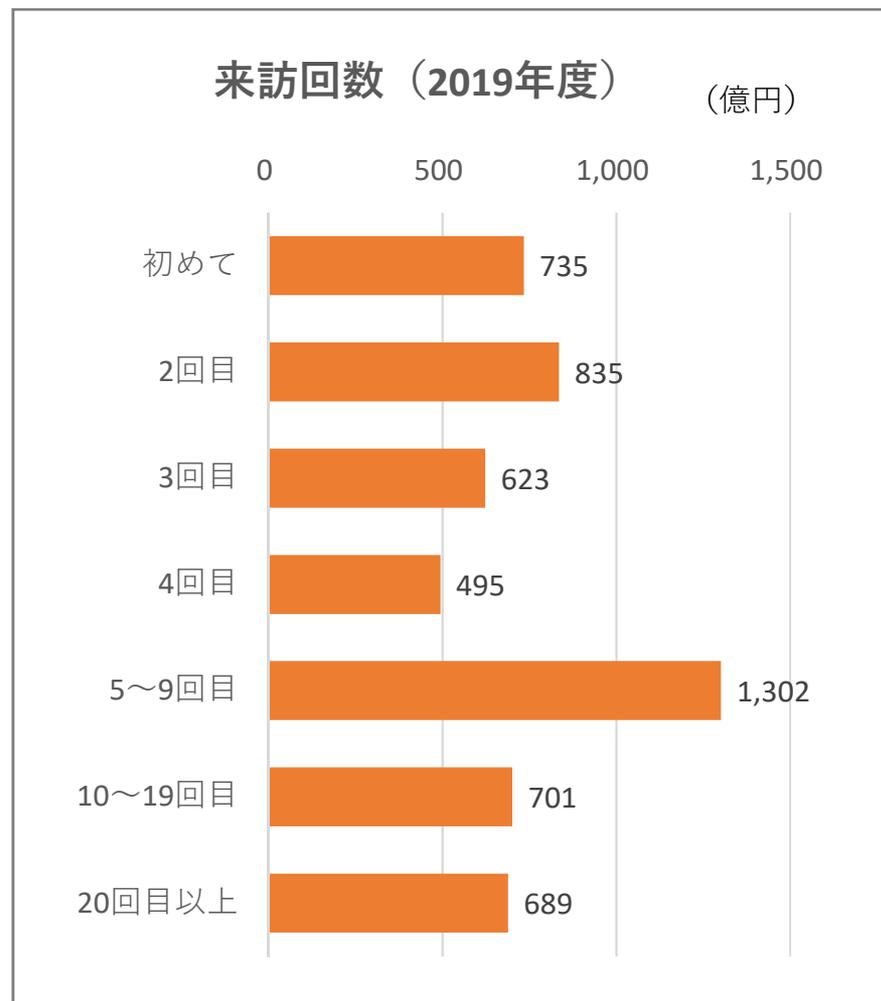
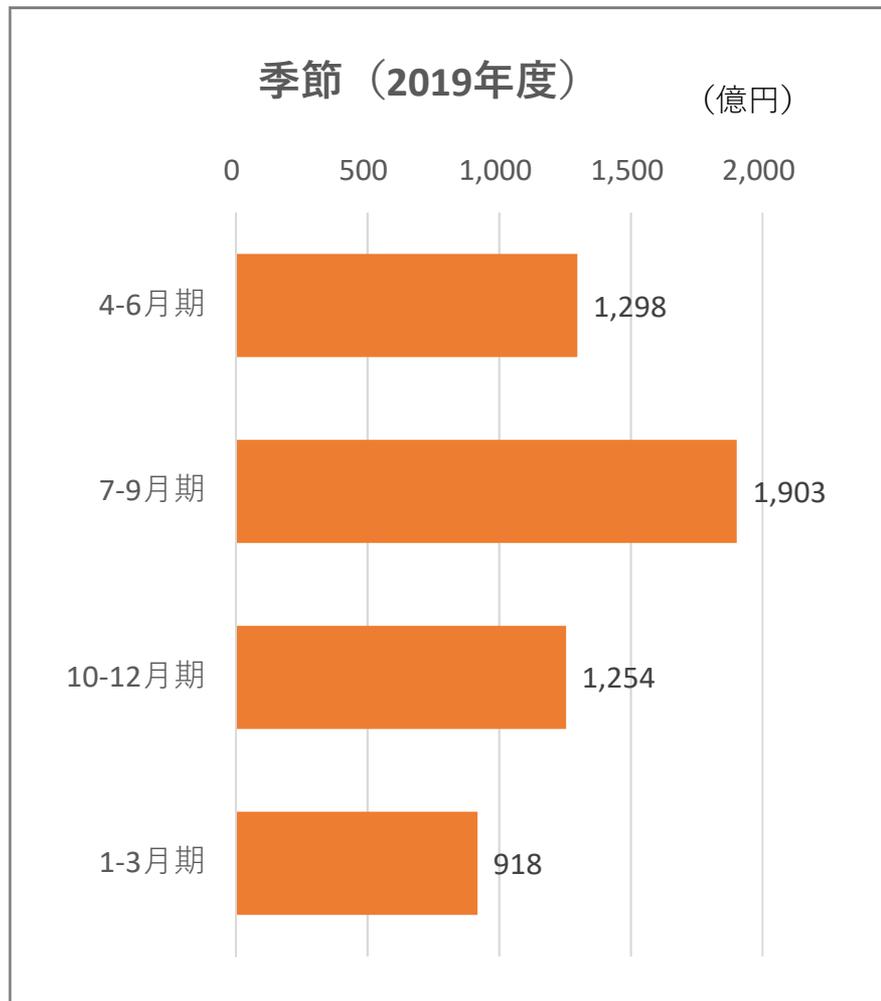
- 関東・近畿からの来訪者で国内客の観光収入の約6割を占める。



出典：沖縄県. 観光統計実態調査、2020より事務局推計

1-③ 観光収入【国内客・客層別】

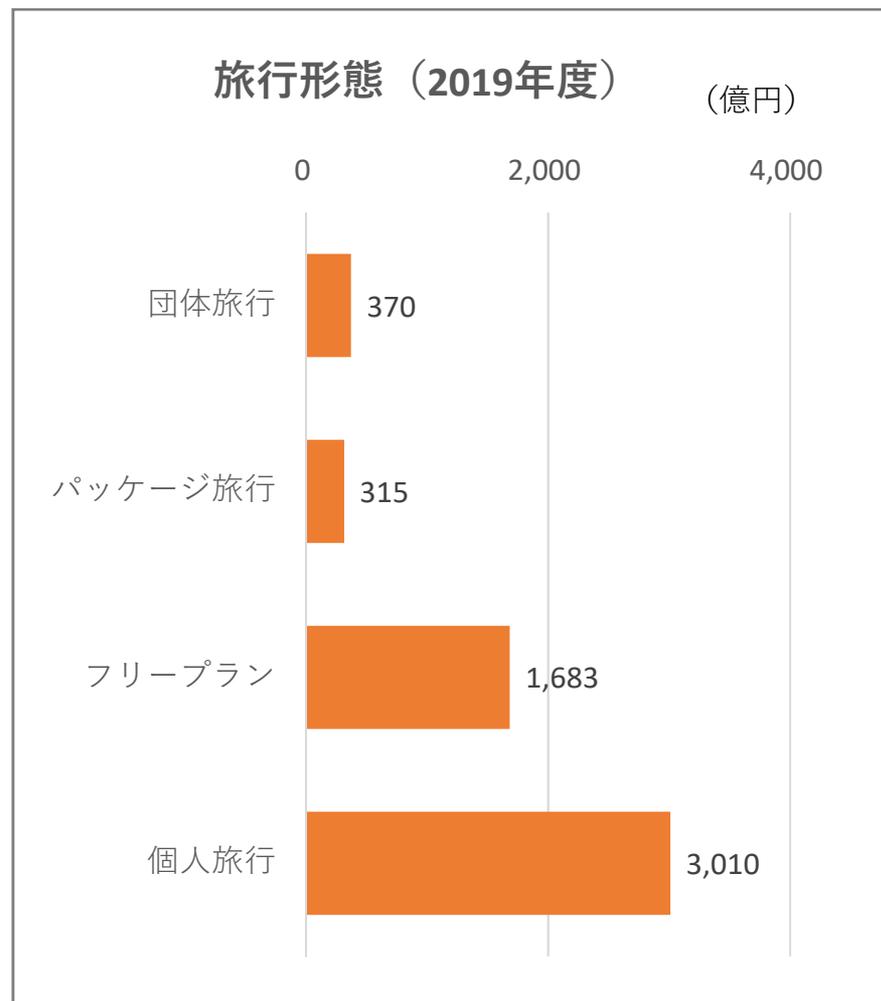
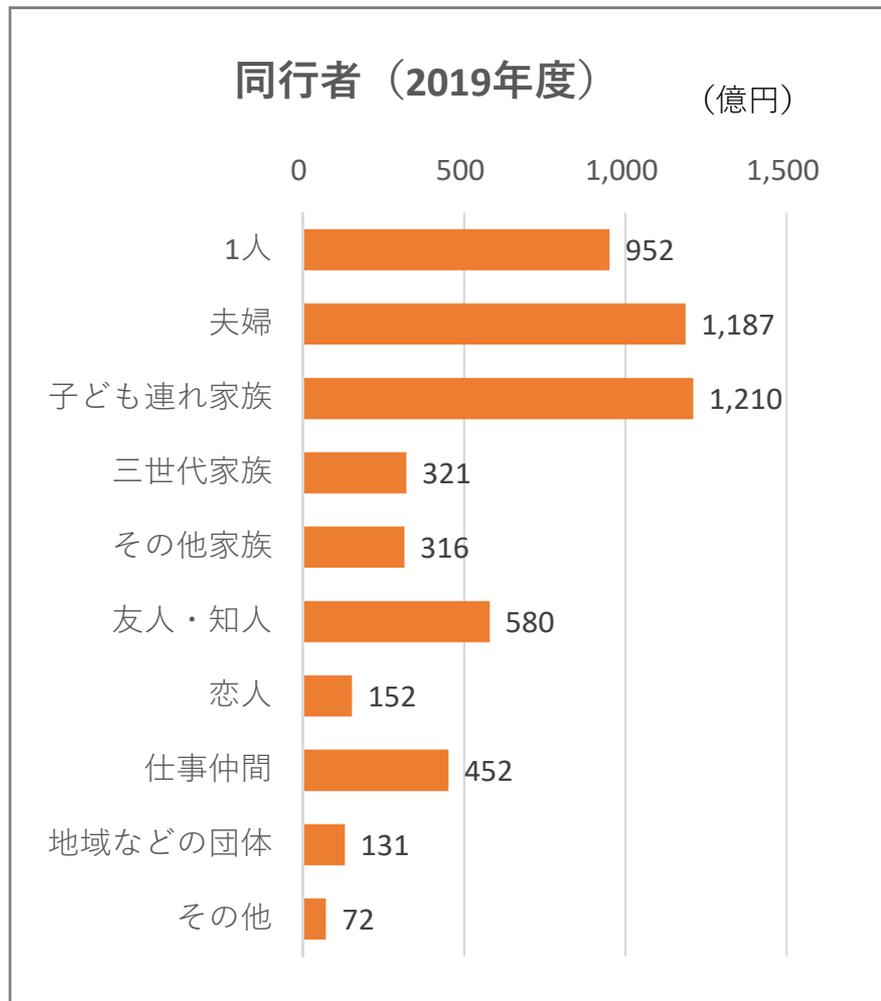
- 7-9月期の観光収入が大きく1-3月期の約2倍の規模。



出典：沖縄県. 観光統計実態調査、2020より事務局推計

1-③ 観光収入【国内客・客層別】

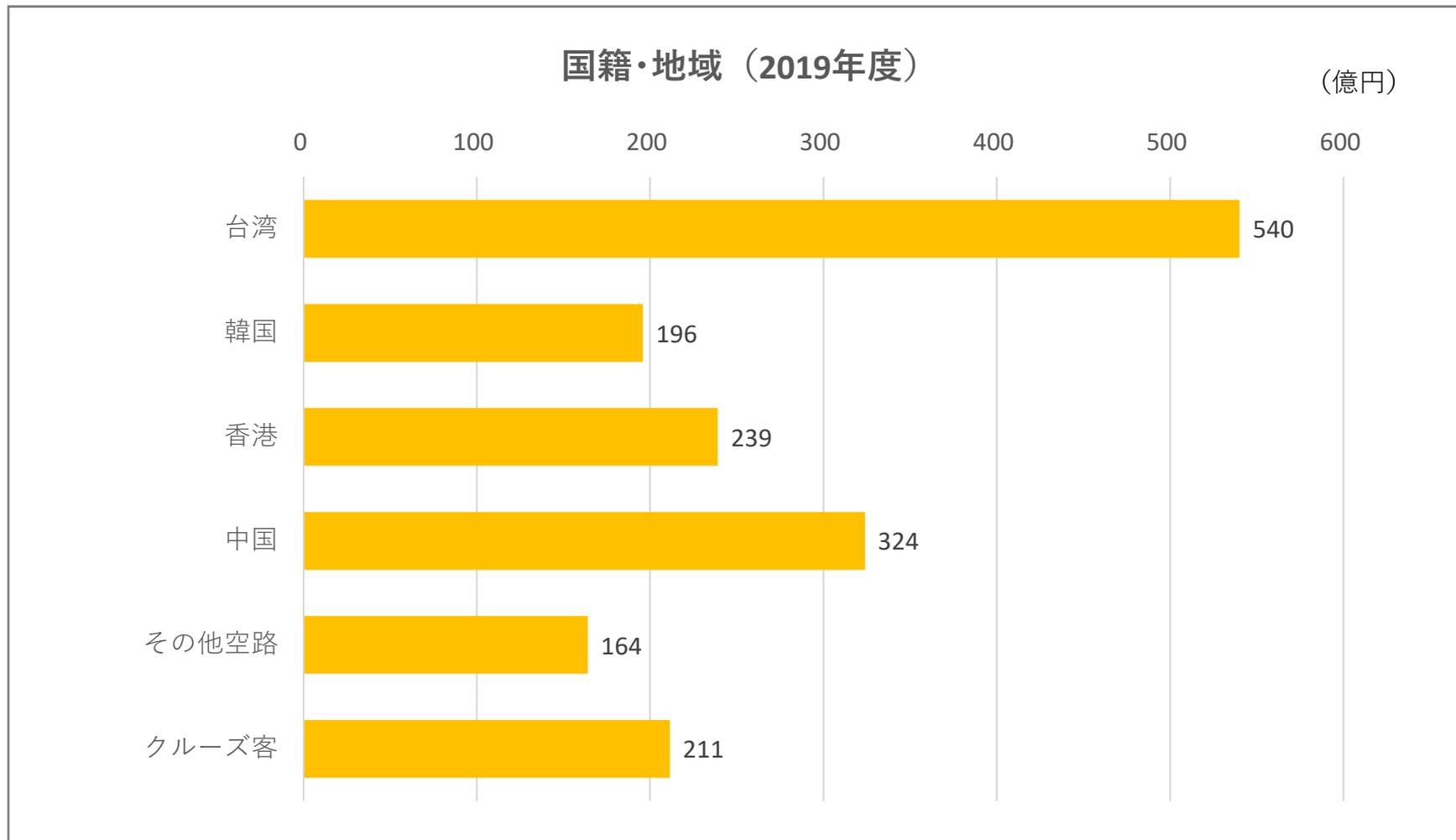
- 同行者別では夫婦や子供連れ・三世代家族、旅行形態別では個人旅行で国内客の観光収入の約半数を占める。



出典：沖縄県. 観光統計実態調査、2020より事務局推計

1-③ 観光収入【外国客(空路)・客層別】

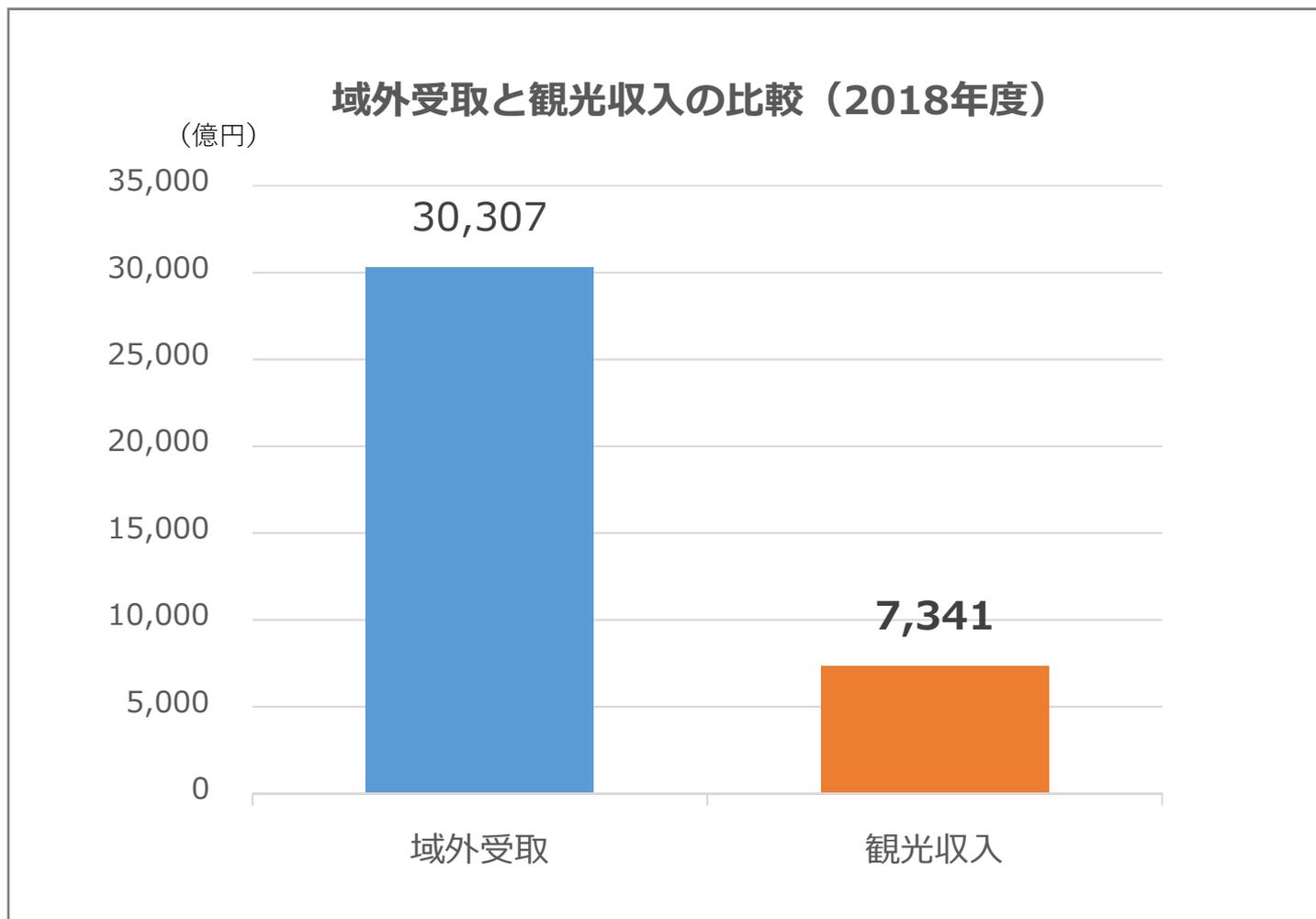
- 外国客では台湾の観光収入が最も大きい。



出典：沖縄県. 外国人観光客実態調査、2020より事務局推計

1-③ 観光収入【域外受取に占める割合】

- 観光収入は域外受取*の約1/4の大きさ。



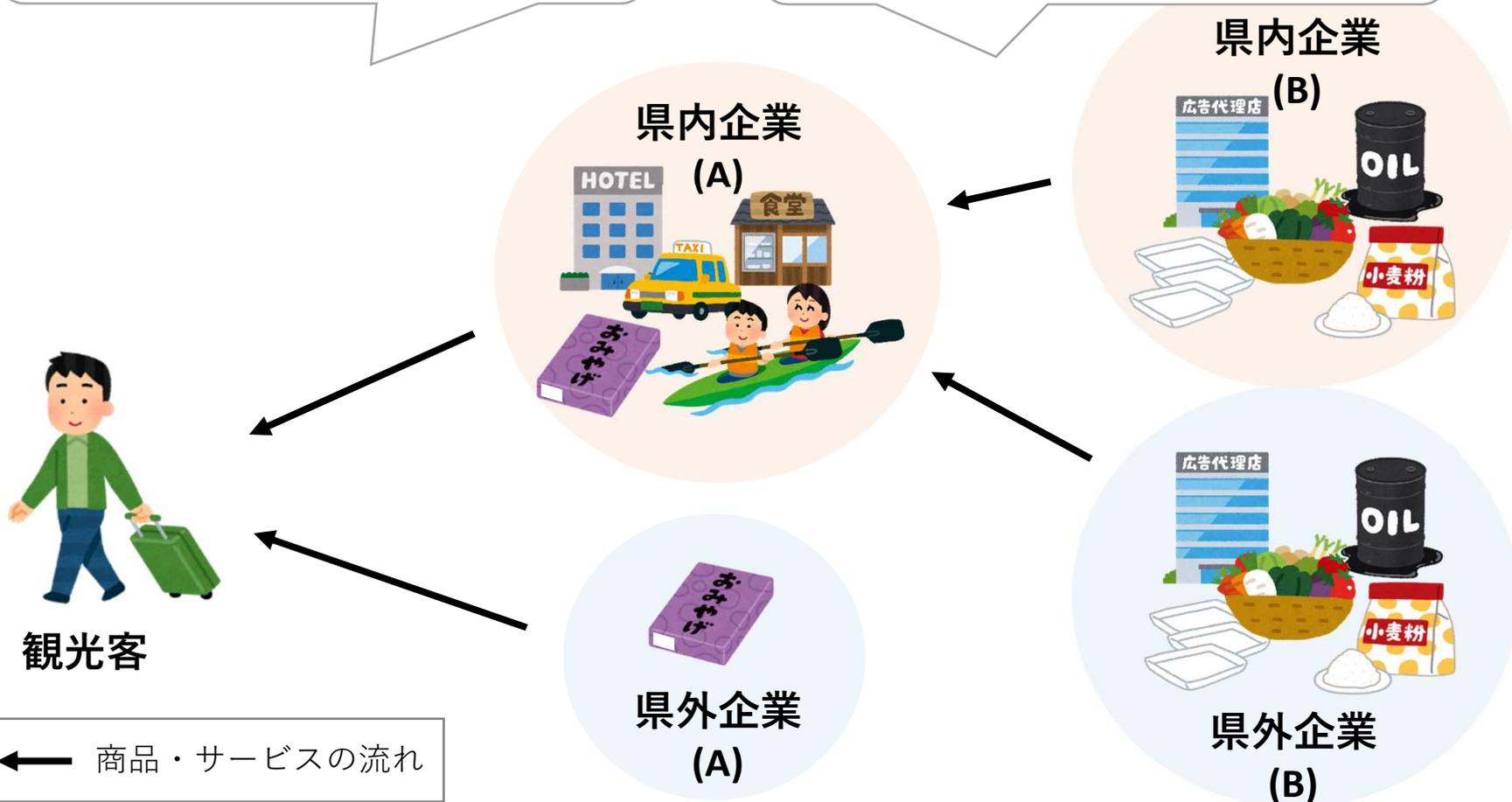
出典：「沖縄県. 県民経済計算 域外受取の推移、2023」、「沖縄県. 観光要覧、2022」
* 域内から見た視点で、移出入などの取引によって域外から受け取る金額。観光収入とは算出方法が異なる。

1-④ 域内調達率

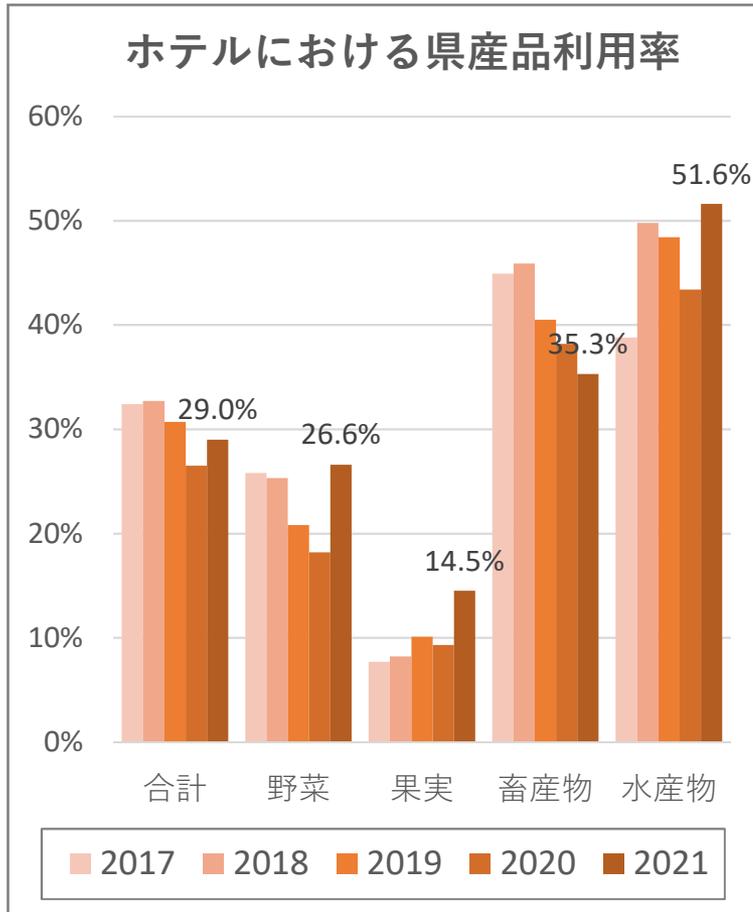
- 観光客による県内購入率と、企業による県内調達率に分けられる。
- 多くの業種において、域内調達率に関する情報が不足しており、調査による把握が必要。

観光客が県内企業(A)が生産する商品・サービスを購入する比率
(県内購入率)

県内企業(A)が県内企業(B)の生産する商品・サービスを調達する比率
(県内調達率)



1-④ 域内調達率【企業の県内調達率／宿泊業】（参考）



仕入に関する宿泊事業者へのヒアリング結果 (4社)

<食料品>

- 県内からの仕入れが多い品目は**生鮮食料品**
- 県外からの仕入れが多い品目は**米、パイナップル、豚足**など
- 仕入先は「価格」「品質」「安定供給（量の面、品揃えの面）」から選定

<サービス>

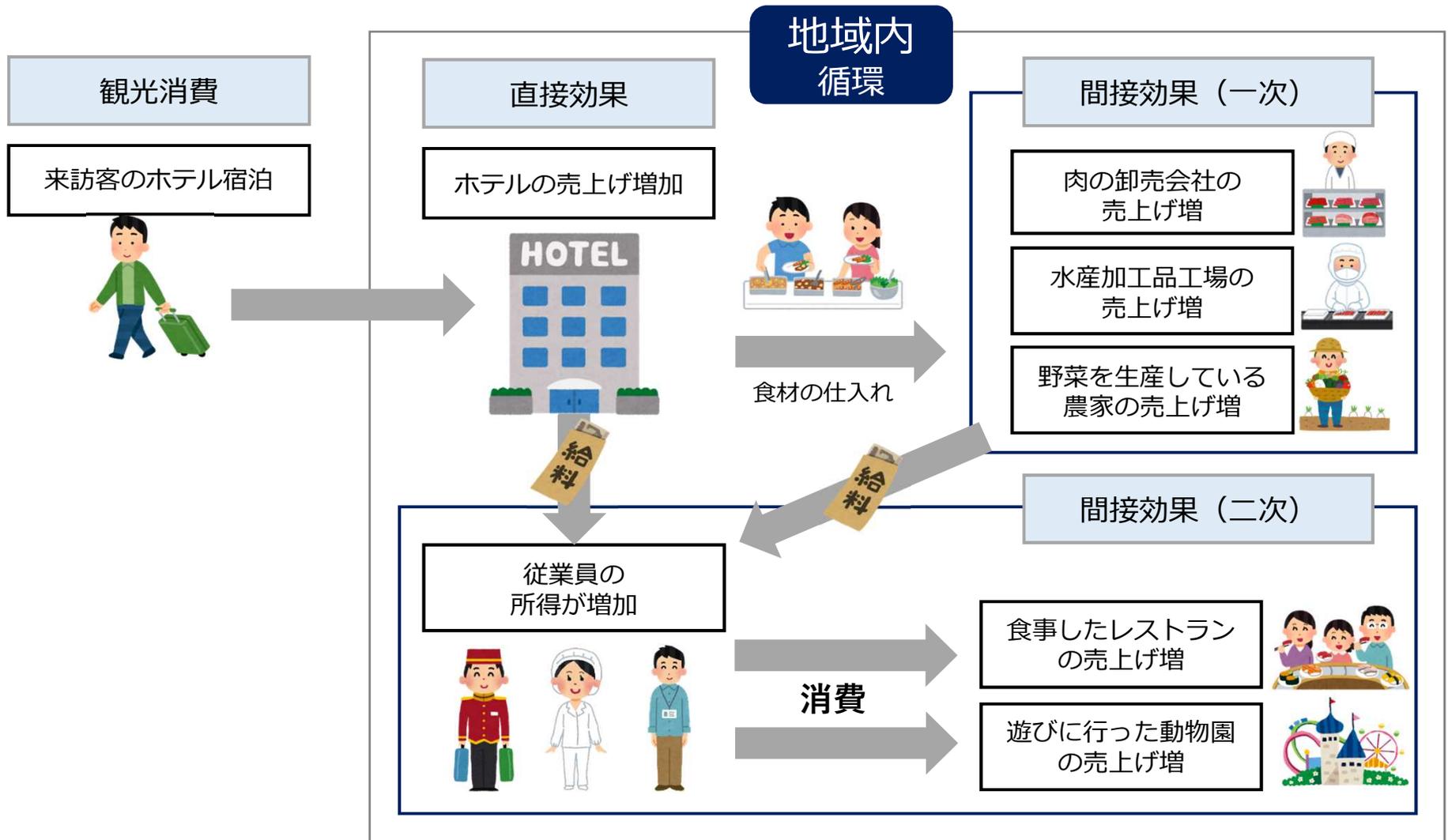
- 県内への外注が多いサービスは**清掃・警備、設備・自動車などの保守点検・修理**
- 県外への外注が多いサービスは**リース・レンタル、広告・宣伝**
- 外注先は「安定供給」「人材確保が容易」「品質」「取引関係の有無」から選定

出典：沖縄県農林水産部. 県内ホテルにおける県産農林水産物利用促進事業、2022

出典：沖縄県. 沖縄における経済循環の構造把握調査分析報告書、2020

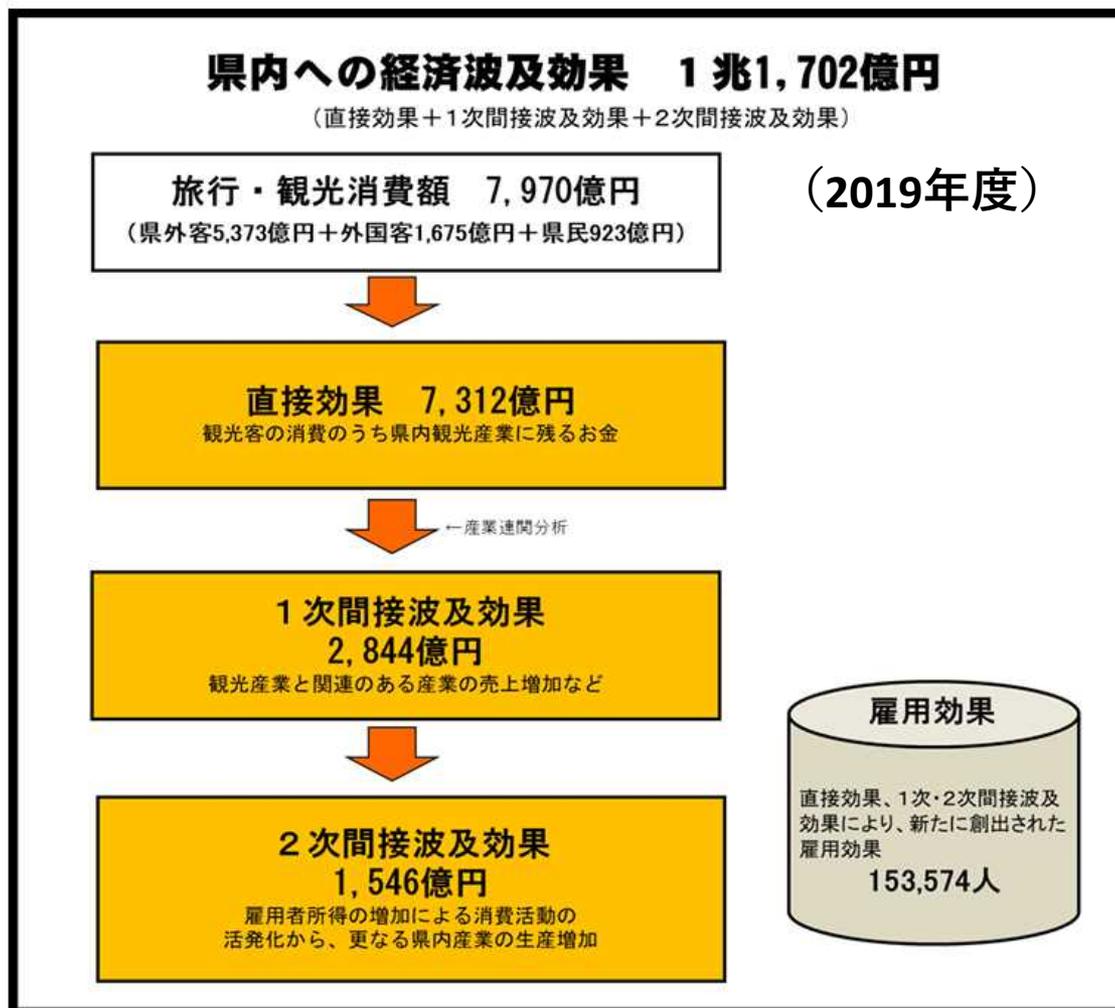
1-⑤ 経済波及効果【概要】

- 観光消費が観光事業者やその仕入・外注先の売上へとつながり、さらにこれらの業種の従業員の所得増加によって更なる消費が生まれる。これらの総額を示したもの。



1-⑤ 経済波及効果

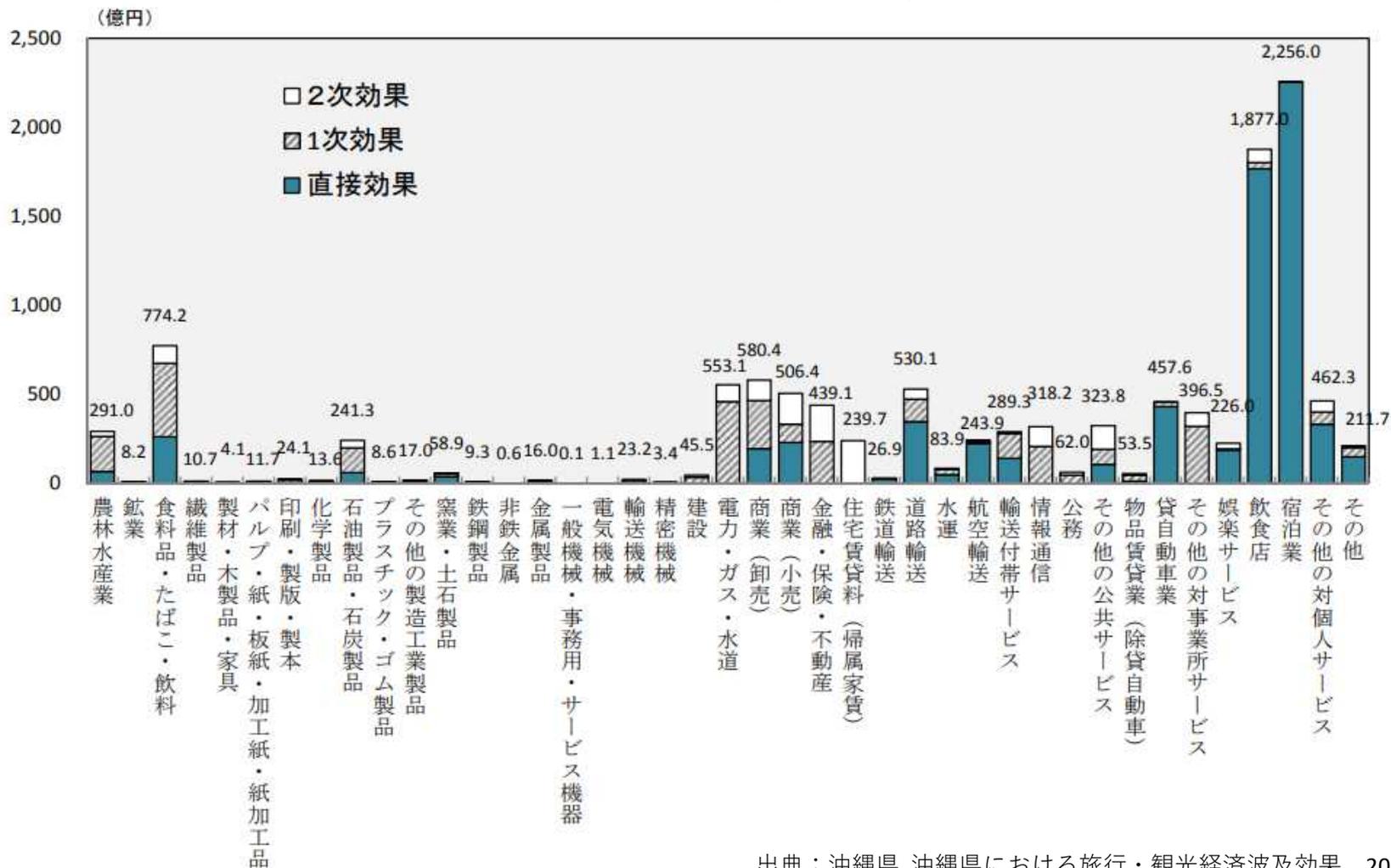
- 令和元年度における、7,970億円の旅行・観光消費額による経済波及効果は、1兆1,702億円と推計されている。



1-⑤ 経済波及効果【産業別の波及効果】

- 観光消費を通じて、県内の様々な産業に波及。

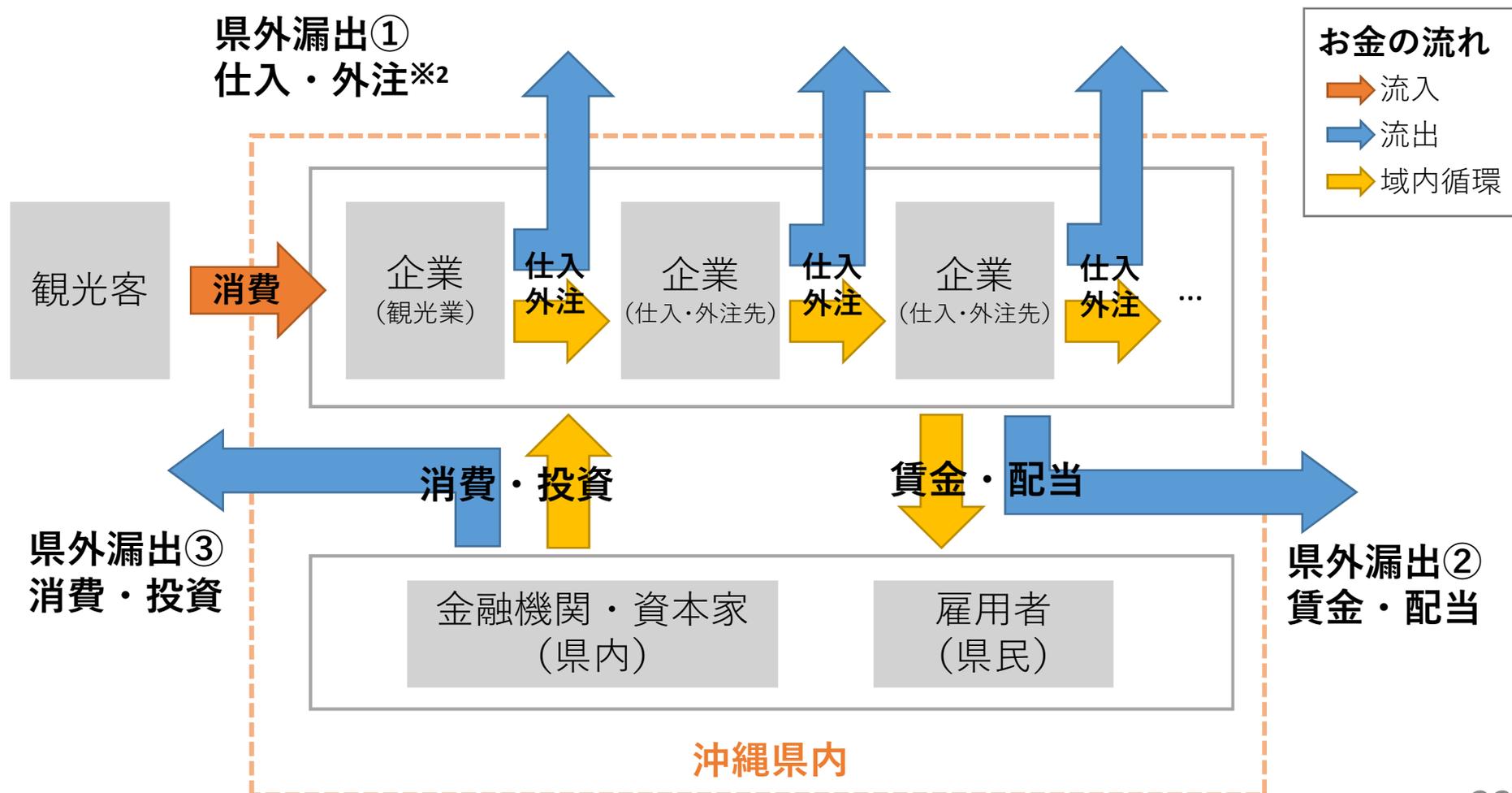
産業別波及効果（2017年度）



出典：沖縄県. 沖縄県における旅行・観光経済波及効果、2018

2 会議のテーマ「域内経済の循環促進」

- 観光客による消費が観光業の売上を通じて、仕入・外注先の売上につながり、さらに企業の売上が賃金・配当を通じて消費・投資にまわることで経済が循環。
- この過程においては、仕入・外注（県外漏出①）、賃金・配当（県外漏出②）、消費・投資（県外漏出③）の3つの経路で漏出が発生。

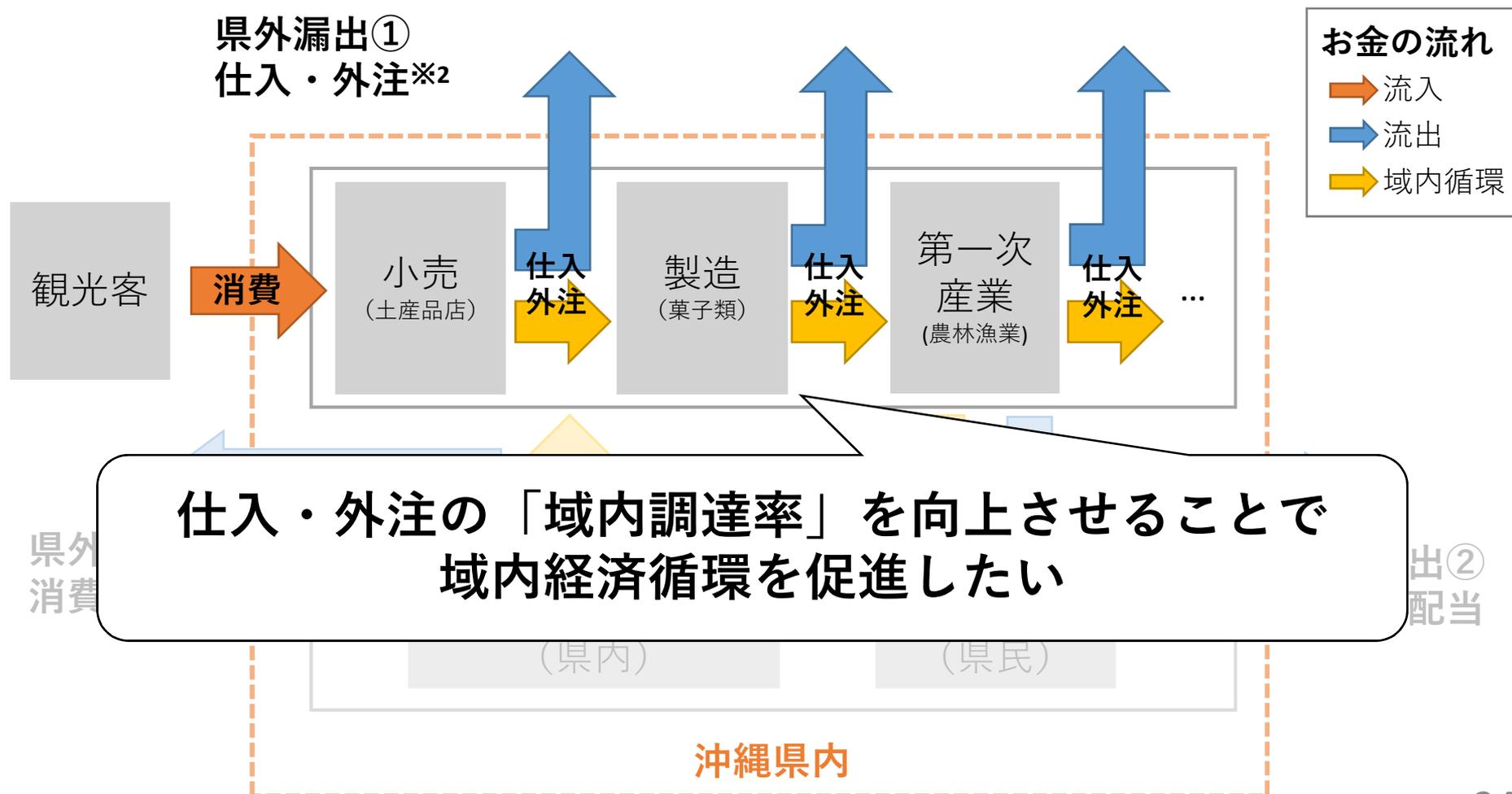


※1：課税・行政サービスの流れを除く。※2：本社が域外にある場合に漏出する、経理や広告・広報、仕入・生産管理などの本社サービス分費用もここに含まれる。

2 会議のテーマ「域内経済の循環促進」

- 3つの漏出のうち、特に影響が大きいと考えられる、仕入・外注の「域内調達率」を向上させることで域内経済循環を促進したい。

〈小売（土産品店）の例〉



※1：課税・行政サービスの流れを除く。※2：本社が域外にある場合に漏出する、経理や広告・広報、仕入・生産管理などの本社サービス分費用もここに含まれる。

3 関連する業種

- 観光客の主な支出に対応する業種とその主な仕入・外注先業種から、議論の対象とする業種を絞り込みたい。

観光客の主な支出	対応する業種
パッケージツアー料金	旅行・その他の運輸付帯サービス（旅行業）
宿泊費	宿泊業
飲食費	飲食店
県内交通費	バス、ハイヤー・タクシー、貸自動車業（レンタカー）
娯楽・サービス費	社会教育（博物館・植物園・水族館）、美容業（エステ） スポーツ施設提供業・公園・遊園地（ゴルフ場含む） スポーツ・娯楽用品・その他の物品賃貸業 遊技場・その他の娯楽（ダイビングサービス業） その他の対個人サービス（ガイド）
買物代	小売（土産品店）

+

これらの主な仕入・外注先業種（例）

菓子類(土産品)、酒類、その他の食料品、織物、日用陶磁器(やちむん)、他に分類されないガラス製品(琉球ガラス)
洗濯業（リネンブライ業）、自動車整備、損害保険、広告、情報サービス など